

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤマリア横須賀工場第2期工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県横須賀市神明町1-41,54	構造	S造
用途地域	工業地域、22条地域	平均居住人員	372人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年10月21日
敷地面積	3,500㎡	作成者	株式会社フジター級建築士事務所
建築面積	1,757㎡	確認日	2020年10月21日
延床面積	8,228㎡	確認者	株式会社フジター級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 72% (33 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 72% (33 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 72% (33 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	2.7
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	2.8
耐用性	3.1
対応性	3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	1.5

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

建物外皮の	4.8
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	4.1
地域環境	3.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
<b>Q1 室内環境</b> 照度を高めに設定し、光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。補修必要間隔の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> PS・EPSIにより設備との錯綜を回避し、部材の再利用可能性向上へ配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を72%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。燃焼器具を使用せず、大気汚染の防止に配慮している。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される